

## 「特定非営利活動法人 テクノ未来塾」との探究学習

1/28(土)、本校図書館にて「特定非営利活動法人 テクノ未来塾」をお招きし、探究学習が行われました。

「テクノ未来塾」は「技術者が業界・専門分野を超えて、夢のある未来を自ら作る活動を行い、技術者の自立・自律を目指す活動を応援する」という趣旨で様々な活動を行っていらっしゃいます。

今年度もテクノ未来塾から企業の研究職やエンジニア、中小企業診断士など、県内だけでなく県外からも多彩な職種の社会人をお招きし、探究学習を行いました。今回の学習は、「学ぶこと」と「働くこと」がどのように結びついているのか、両者の関連性を考えることが中心的テーマでした。



前半は各企業人の自己紹介とキャリアについてお話がありました。それぞれの経験をもとに高校・大学での学びや、それらと仕事の関連性についてレクチャーと意見交換を行いました。その中で「研究職ってどんな仕事?」「品質管理ってよく聞くけれど、品質ってなんだろう?」といった疑問にも、身近なものを例にわかりやすく説明してくださいました。生徒達は前半の質疑応答やレクチャーを通し、漠然としていた学問や仕事の内容を、より明確なものとして捉えられたようでした。

後半は生徒と社会人が4班に分かれて「働くことと学ぶこと」というテーマに沿って、将来の仕事や進路実現について考えを深めました。どのグループにおいても、テクノ未来塾の方々が生徒らの現在の悩みや考えを丁寧に聞き取り、それに対して自らの経験を交えながらアドバイスをしてくださいました。生徒達は自らの考えを口に出して伝えることで、それまで自分でも気付いていなかった思いを発見すると同時に、普段接することのない社会人からのアドバイスに熱心に耳を傾けることで更に考えを深めていました。

最後に、各班で話し合った内容をホワイトボードにまとめ、皆が考えた「働くこと」と「学ぶこと」の意味を共有しました。高校生活の先は答えのない道で

あり、その中を生き抜くために「学ぶ力」や「考える力」が重要であること。働く上で、必ずしもいつも自分のやりたいことが出来るわけではない。そんな時、選択肢を広げるために様々な分野の知識が必要であること。好奇心を持ち続けて広い視野で課題解決にあたること。社会人との対話を通して、多くのことを生徒が学びとった様子が発表から伝わってきました。今回の探究学習で得た気付きを、今後の学習や進路選択に活かしてほしいと思います。

